

# ふたがた

2023

第96号



## C o n t e n t s

- P 2…総合施設長あいさつ
- P 2…とがくら園
- P 3…おおくら園・まつくらセンター
- P 4…かまくら園・医療課
- P 5…なでくらセンター・食事サービス課
- P 5…医療機関との連携について
- P 6…船形の郷整備事業について
- P 6…地域移行推進部・編集後記

### 【写真の説明】

お仕事中に1枚! / おおくら	仲良く握手 / とがくら
	お外にお出かけ♪ / かまくら
野菜はいかがですか? / まつくら	集中しております... / なでくら

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会  
宮城県船形の郷

<http://www.miyagi-sfk.net/sato>

〒981-3625 宮城県黒川郡大和町吉田字童子沢21

TEL 022-345-3282

FAX 022-345-3984



## ご挨拶



総合施設長 鷲 伸晃

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年の夏は、「地球沸騰化」と評した通り、まさに酷暑でした。利用者様の生活におきましては、定期的な水分の提供や居室の温度管理等を通じ、熱中症防止に努めてきました。

施設建替えに關しましては、令和6年4月の全面供用開始を目指し、事務管理センターの建替え、旧とがくら園の大規模改修と、いよいよ大詰めとなってきました。工事現場では大型のクレーン車が活躍し、利用者様が興味津々とお見づめている姿が印象的でした。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、今年の5月より5類の取扱いに移行となりました。但し、施設においては感染による重症化のリスクが懸念されることから、職員のマスクの着用や定期的な室内の換気・手指消毒等、基本的な感染対策に引き続き取り組んでいきたいと考えております。これからも感染症対策をしっかりと行いながら、利用者様がより充実した日々を送れるよう努めていきたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 各部署の取り組み状況について

### とがくら園

◎入所支援と生活介護の提供

#### 【園の特色と目標】

高齢の方が多く、8割以上が車いすを使用しており、移動には介助が必要です。また、ボランティアの受入れや、動物とのふれあい活動など、地域の方々との交流（現在コロナ禍で見合わせ中）を通して生活意欲の向上につなげ、利用者の皆様の笑顔をいっぱい引き出せるように取り組んでいます。

#### ☆日中活動

利用者様の身体機能や趣味に合わせて、創作活動や園内・園周辺の散歩、ボール投げ等の活動を提供しています。皆様日々楽しそうに取り組まれています。



#### ☆桜を見る会

今年も桜の花が綺麗に咲き、利用者の皆様でお花見をしています。桜の香りに、春の訪れを感じました。



#### ☆七夕茶話会

短冊と七夕飾りを作成しています。利用者様同士で願いごとを披露しあう様子も見られました。



#### ☆清涼茶話会

今年の夏も暑い日が続きましたが、かき氷で涼を楽しみました。



#### ☆理学療法士によるリハビリ

来年度のリハビリ部門開設に向け、今年度から船形の郷に理学療法士が配置されました。

今年度は、とがくら園の利用者様を中心に行っています。身体機能や動作の評価を基にアドバイスをを行い、日常での過ごし方に活かしています。



#### ☆リハビリの様子

個別のリハビリも開始し、身体機能の維持・向上に努めています。





## ♡ おおくら園 ♡

◎入所支援と生活介護の提供

### 【園の特色と目標】

利用者の皆様の社会参加に向け、日々支援に努めています。また、ご家族との連携も大切にしています。毎月各ご家庭へ担当職員より近況報告を行っており、ご家族様のご意見等を伺いながら、支援に反映しています。



☆七夕会へかき氷で暑気払い☆  
今年、仙台七夕に合わせて8月に開催し、かき氷を食べながら楽しみました。新型コロナウイルスの感染拡大の心配もあることから、係ごとで開催しています。かき氷で涼を満喫されている方や冷たさにビックリされる方等反応も様々で、皆様思い思いに楽しんでいました。



☆自治会へたんぼの会☆  
6月におおくら園の自治会、たんぼの会「の全体集会が開催され令和5年度の役員改選が行われました。また、毎月各係で自治会集会を開催し、利用者様からの要望等を伺っています。



☆晴天に恵まれたBBQ  
利用者様からのお声で始まったBBQ会。今年も晴天に恵まれ、焼き鳥やシユースを召し上がり、楽しいひとときを過ごされました。



☆日中活動く地域活動班☆  
日中活動の一つ、地域活動班の活動を紹介します。地域活動班では段ボール回収を中心に、切手切り・除草作業など、様々な活動を行っています。利用者の皆様も、両手に軍手をはめて、率先して回収作業に取り組まれています。



☆日帰り旅行へ定義山への旅☆  
コロナの影響で自粛していた日帰りの旅行でしたが、今年から規模を縮小して再開しています。今年も定義山へ日帰り旅行に行ってきました。お参りをしたり名物の三角油揚げを召し上がる等して、久しぶりの旅行を満喫されたようでした。

## ♡ まつくらセンター ♡

◎就労継続支援B型事業所

### 【センターの特色と目標】

地域で暮らす方々を対象に様々な就労の機会を提供し、工賃をお支払いしています。自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援します。

### ☆活動報告

まつくらセンターでは、農耕班・ランドリー班・清掃班の3つの活動班に分かれて作業を行っています。利用者様の年齢や能力、特性に沿った作業メニューの提案やアドバイスをしながら、日々活動に取り組まれています。



☆社会体験学習  
6月には、社会体験学習として「すたみな太郎」に行ってきました。マスクの着用や手指消毒等の感染対策をしっかりと行いながら、皆様おいしそうに焼き肉を召し上がっていました。



## かまくら園

◎入所支援と生活介護の提供

### 【園の特色と目標】

行動障害や自閉的傾向のある利用者様の意思尊重、尊厳を重視したサービスを提供し、能力に応じて自立した日常生活を営むことを目標としています。社会体験外出や行事を通して潤いのある生活を送っていただけるよう取り組んでいます。



**☆お楽しみ活動**  
 新型コロナウイルスの影響により以前のような外出は難しくなっていますが、その分園内でのお楽しみ会の機会を多く提供できるように努めています。係ごとになな重の出前をとっての暑気払いや、ハンバーガーをテイクアウトしてのマックパーティー等、どれも利用者様のご希望に沿った活動となっております。皆様とても楽しんでくださっています。

### ☆園移動

6月、おおくら園から15名の女性利用者様が職員と共にかまくら園へ移動されました。中には、以前かまくら園で生活されていた方もいらっしゃいます。

建替え以降、より良い支援ができるよう利用者様の特性や相性等を考慮しながら園の編成を行っています。今後しばらくの間は試行錯誤を繰り返していくことになると思われませんが、園を移動しても変わらないサービス提供に努めていきたいと思っています。



### ☆夏祭り

お祭りが気分が盛り上がるよう皆で着たハッピーは懐かしき「船形コロニー」の名前入り。「船形の郷」になってもイベント時には欠かせないアイテムです。ハッピーのおかげで、かき氷のお味も一割増しになりました。



### ☆QC活動

利用者支援の充実のため取り組んでいる福祉QCサークル活動。今年「視覚支援」をテーマにしています。これまで言葉だけでお伝えしていたことも、視覚で理解出来るよう、写真や絵を使ってお知らせしています。少しずつ成果も現れており、今後も効果を確認しながら、より良い支援が展開できるようチャレンジしたいと思っています。

### ☆支援力向上を目指して

6月、4名の職員が群馬県にある「国立重度知的障害者施設のみみの園」へ現任研修に行ってきました。利用者の皆様が多々の中で感じる戸惑いを少しでも減らしていくために環境を構造化する支援等について学んできました。

利用者の皆様がいよいよ「こしや」の生活環境を提供できるよう、今後も職員一同スキルアップに努めていきます。



当日勤務職員を写真で提示



### 医療課 ワンポイント健康講座

## ウイルスは乾燥が好き

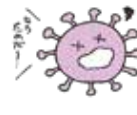
毎年冬になると、風邪や季節性インフルエンザが流行します。主な原因としては、空気が乾燥し、低温・低湿度になることでウイルスの生存率が上昇し、空気中のウイルスが増加・拡大しやすい環境になることが挙げられます。

ウイルスの多くは、人間の場合喉を通って体内に侵入します。喉の乾燥を防ぐためには、こまめの水分摂取やマスクの着用が効果的です。厚生労働省による

と、新型コロナウイルスの予防効果として、50cmの距離で双方がマスク着用をしていた場合、ウイルスの吸い込みを7割以上も抑えられたという研究結果も出ています。

また、室内の湿度をコントロールすることは、ウイルスを増やさないためにも効果があります。加湿器等をうまく活用し、湿度を40〜60%で調整することが必要です。

これからはどんどん寒くなり、乾燥が進む冬が近づいてきます。ウイルスに負けないように健康管理に気を付け、対策をしっかり行っていきましょう。



# なでくらセンター

◎軽作業等による日中活動の提供

## 【センターの特色と目標】

作業支援や社会体験外出等に取り組み、地域との関わりを含め、「その人らしい生活の実現」を目指します。

新型コロナウイルスの影響により、地域交流行事や外出行事は実施できていない状況ですが、屋内外作業班の他、施設内の活動として地域活動班、自立課題活動班をスタートし、各園の職員と協力しながら活動支援を行っています。

**☆屋内作業班**  
4月より新たに「フレンドリー作業」を開始しています。とがくら園のバスオトル・タオルケットを畳み、係ごとに仕分けて袋詰めし、台車に乗せて配送しています。

**☆屋外作業班**  
秋冬に向けて花壇整備、温室では葉牡丹とピオラの苗を生育中です。残暑が厳しい中ですが、体を動かすことで気分も晴れやかです。



**☆地域活動班**  
職員と一緒に、各園・センター、系列施設から段ボールを回収して、リサイクル業者へ搬入する作業を行っています。



**☆自立課題活動班**  
自閉症のある方の自立を目的として、さくら館内の活動室「ルッコラ」にて課題活動を行っています。パーティーションに区切られた机上で、集中して取り組んでいます。



**☆介護予防教室**  
なでくらセンターでは、住み慣れた地域でなるべく介護を必要とせず暮らしていけるようにすることを目的に、介護予防教室を行っています。昨年は介護保険制度・福祉サービス利用の知識・運動機能向上に有効な体操を学ぶ教室を開催し、沢山の方に参加いただきました。

【活動日】  
土日祝日を除く  
毎日  
（9時30分～15時30分）



## 食事サービス課

私たちの体は、食べた物でできています。およそ60兆個もある細胞が健康を保つためには、何を食べるのかがとても大事です。旬が大切です。旬の農産物や魚介類には旬があります。旬の食べ物は、季節を感じただけでなく、安く購入できて美味しいのが特徴です。栄養価も高く、その時期に起こりやすい体調不良を予防する効果があります。

例えば、夏野菜のトマトやきゅうりは、日焼け予防やほろりをしずめ、冬野菜の大根やごぼうは、体を温める働きがあります。

お店には加工食品が多く並んでいますが、そのほとんどは食品添加物や調味料が豊富に含まれています。見た目が美味いかもしれませんが、そのほとんどは、食塩や保存料が確認されています。大量に摂取すると、体に悪影響を及ぼすというデメリットもあります。船形の郷土食品は、加工食品を大量に摂取するよりも、旬の食材を提供する方が健康的です。

小さい普通の提供が難しい方には、小さく刻んだりペーパー状にしていただきます。食を通り健康作りをしています。

<普通食>



<刻み食>



<ペースト食>



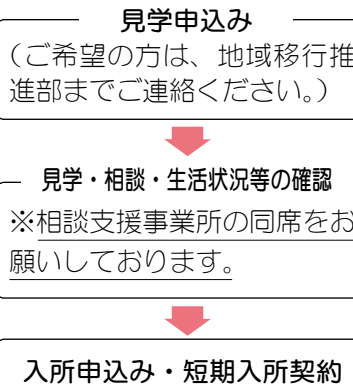
◇ご利用料金

★施設入所・生活介護  
・食費：一日1,440円  
・光熱水費：一日320円

★短期入所  
・食費：朝420円、昼510円、夕510円  
・光熱水費：一日320円

※施設入所・短期入所共に、所得に応じた軽減措置となる場合があります。

### 入所申込み・短期入所利用の流れ



◇入所・短期入所について

利用対象となる方は

入所・知的障害のある障害支援区分4以上(50歳以上の方は障害支援区分3以上)の方。

短期入所・知的障害のある障害支援区分1以上の方。

## 地域移行推進部

【推進部の特色】  
入所や短期入所に係る相談の受付や、利用者様の地域生活移行を担当している部署です。お気軽にお電話ください。  
電話 022-345-3282



◇令和5年度工事の状況

改築・改修工事に向けて、ゴールデンウィーク明けから作業エリアが白い仮囲い等で区画され、令和6年3月下旬の完成を目指し工事が順調に進められています。

◇新管理棟の新築工事

エネルギーセンター・給食センターの解体跡地を作業エリアとして、新管理棟の新築工事が行われています。令和6年度に供用開始予定です。

新管理棟の場所



◇車庫棟の改築工事

現事務管理センター前の駐車場の一部分を作業エリアとして、工事が進められています。新管理棟と同様に令和6年度に供用開始予定となっています。

車庫棟の場所



◇旧とがくら園の大規模改修工事

現在、令和4年10月まで供用された旧とがくら園の活用に向けた、大規模改修工事が行われています。



今後敷地内の工事が続き、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、皆様のご協力をいただきながら進めていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願致します。

なお、船形の郷ホームページにおいても工事関係の進捗状況等を掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。



防犯訓練・不審者対応訓練

9月12日、宮城県主催の防犯訓練・不審者対応訓練が実施されました。宮城県警、大和警察署にご協力いただき、実際に不審者が施設に来たかどうかを模擬対応しました。警察官の方のリアルな演技に圧倒されながらも、落ち着いて対応することができました。



緊急通報後、警察官が到着するまで10分程かかり、とても長く感じましたが、さすまた等を使ってなんとか不審者の侵入を防ぎました。模擬対応後は、県警の方よりさまざまな防犯・抑制訓練が実施されました。扱いが難しいさすまたの基本的な構え方や、使用方法を教えてくださいました。

昨今、県内でも不審者による事件が増えています。船形の郷としても今回の訓練を活かし、もしもの場合に対応できるように努めてまいります。



ホームページのご案内

施設概要の他、行事や活動の様子などが掲載されており、是非ご覧ください。



『宮城県船形の郷』で検索

URL : <https://fukushi.miyagi-sfk.net/sato>

編集後記

今年の夏は本当に暑かったですね。ギラギラした日差しも和らぎ、少しひんやりとした風が心地よい季節になってきました。

船形の郷では、秋になると木々の葉が表情を変え、色とりどりの姿を見せてくれます。きれいな景色も束の間、あっという間に寒い冬がやってくるので(雪景色も壮観ですよ)、お越しの際は、今しか見れない紅葉をぜひご覧ください。

令和5年10月  
宮城県船形の郷 広報委員会

